



2023年2月10日

各 位

会 社 名 曙ブレーキ工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 CEO 宮地 康弘
 (コード：7238、東証プライム市場)
 問合せ先 事業管理部長 小野崎 正史
 (TEL. 048-560-1501)

(連結・個別) 為替差損(営業外費用)の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月期第3四半期連結決算及び個別決算において為替差損(営業外費用)を計上し、また、最近の動向を踏まえ2022年5月13日付の「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表した業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 為替差損の計上

昨今の為替相場の変動により、第3四半期会計期間の連結決算において2,423百万円、個別決算において2,616百万円の為替差損(営業外費用)をそれぞれ計上いたしました。ただし、表示上は第2四半期累計期間において計上していた為替差益の減少として取り扱っております。これは主に当社が保有する海外子会社への外貨建ての貸付金に対し発生したものであり、今後の為替相場の状況によりこの金額は変動いたします。

なお、第2四半期までの為替差益との累計額は下の表のとおりです。

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	累計
連結決算	3,123百万円	1,953百万円	△2,423百万円	2,654百万円
個別決算	2,929百万円	1,654百万円	△2,616百万円	1,967百万円

個別決算において計上した上記の貸付金に係る為替差損益につきましては、今後同程度の貸倒引当金繰入額の計上が見込まれるため、個別決算の当期純利益への影響は軽微となる見込みです。

2. 業績予想修正の内容

2023年3月期通期 連結業績予想値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	152,000	3,000	2,000	100	0円75銭
今回修正予想(B)	153,800	△500	未定	未定	未定
増減額(B-A)	1,800	△3,500	—	—	
増減率(%)	1.2	—	—	—	
(参考)前期実績 (2022年3月期)	135,498	4,240	6,072	4,154	31円10銭

(修正の理由)

半導体を中心とする部品不足の影響は段階的に改善傾向にあるものの依然として不透明な状況が続いていることや、中国のロックダウンの影響などにより受注の減少が見込まれますが、前提為替レートの見直しに加え原材料価格やエネルギーコストの市況高騰影響の一部の販売価格への転嫁により、売上高は前回予想を上回る見込みです。しかしながら、受注の減少や想定を上回る原材料価格やエネルギーコストの市況高騰の影響が大きく、営業利益は前回予想を下回る見込みとなりました。なお、業績予想の前提となる為替レートは、1ドル132円、1ユーロ141円に変更しております(前回予想では1ドル122円、1ユーロ137円)。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、為替相場の変動の影響を大きく受けるため現時点で合理的に見通すことが困難なことから、未定とさせていただきます。今後、予測が可能となった時点で速やかに開示いたします。

ご参考：地域別の前回予想と今回予想との差異(通期)

(単位：億円)

	売上高				営業利益			
	前回予想	今回予想	増減額	増減率	前回予想	今回予想	増減額	増減率
日本	697	676	△21	△3.0%	23	14	△9	△39.1%
北米	370	417	47	12.7%	△23	△37	△14	－%
欧州	117	127	10	8.5%	△3	△3	－	－%
中国	164	123	△41	△25.0%	1	△6	△7	－%
タイ	65	68	3	4.6%	7	6	△1	△14.3%
インドネシア	216	235	19	8.8%	23	19	△4	△17.4%
アジア合計	445	426	△19	△4.3%	31	19	△12	△38.7%
連結消去	△109	△108	1	－%	2	2	－	－%
合計	1,520	1,538	18	1.2%	30	△5	△35	－%

前提為替レート：1ドル=132円、1ユーロ=141円

アジア合計は、中国・タイ・インドネシアの単純合算

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上